ボローニャ大学留学月例報告（2023 年11月分）

文化政策学部　国際文化学科　3 年　恒枝碧

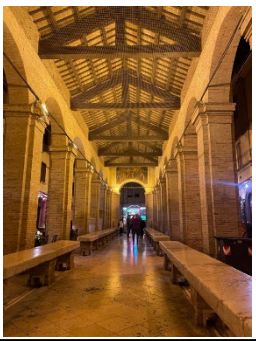
Buongiorno！国際文化学科 3 年の恒枝碧です。ボローニャは急激に気温が下がり、日本の冬のような気温になってきました。秋は一瞬で過ぎ去ったようです。クリスマスマーケットも始まり、街の雰囲気はクリスマスに染まっています。寒くなってきて街のオレンジ色の街灯がよりきれいに見えます。LED のような白い色はありません。歴史地区の景観とオレンジの温かみのある街灯が心を落ち着かせてくれます。

【ボローニャ国立絵画ギャラリー】

11 月初旬にボローニャ国立絵画ギャラリーに行ってきました。ボローニャ大学の学生は無料で入館できます。中世のイタリア宗教絵画からはじまり、中世十字架像、ジョットという中世を代表する画家の作品もあり感動しました。奥に進むと巨大な壁画を展示するエリア、そしてルネサンス時代の宗教画作品に移ります。私はルネサンス絵画が大好きなので本物のルネサンス絵画が目の前にあることに常に感動し続けていました。ルネサンスが終わるとバロック期の作品とボローニャ出身の画家たちの作品が展示されていました。どれもすばらしかったのですが、ルネサンス期までの作品までででかれこれ 2 時間を費やしていたので、はっきり言うとバロック期を真剣に観賞する体力は残っていませんでした。バロック期も全て見終わったころには絵に見飽きるほどです。イタリア絵画を見るのは好きですが作品数と迫力がすごく、イタリアの絵画芸術の歴史の偉大さを肌で感じました。

【港街 Rimini】

11 月中旬にはボローニャから電車で 1 時間半ほどの港街 Rimini(リミニ)に行ってきました。リミニはボローニャとは違う意味で素晴らしい街でした。ボローニャの街はレンガの赤茶色の景観が広がっていますが、リミニは白色の街並みが続いていました。そのため、メルヘンでかわいらしい印象をうけました。街の規模も大きくなく、すごくゆっくりとした時間が流れていてすごく居心地がよかったです。川沿いを海のほうに歩いていくと、だんだん船が増えてきて大型船も多くとまっていました。ビーチは信じられないほど広く、犬が走り回っていました。散歩をしている人もいて、気持ちがよかったです。海の近くのレストランのテラス席でムール貝の前菜を食べていると、隣のテーブルの上に 1 羽の雀が来て私たちのムール貝を狙っていました。手で払っても逃げず、触ろうと思えば触れるほどでした。雀との距離わずか 30 センチ。人生であんなにも近距離に雀がいたことはありません。食事もおいしく、街の景観もかわいらしく、自然もきれいな良い街でした。



写真㊧：古代ローマ時代の魚屋さん跡。港町ならではの遺跡です。この石板の上に魚を並べていたのでしょうか。
写真㊨：海に近づくと船が並んでいました。

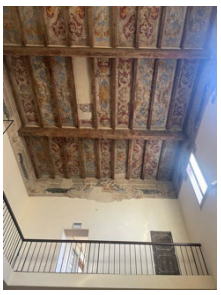
【映画館にて】

イタリアに来て初めて映画館に行きました。開演から 2 時間ほど経ったころ突然映画が止まり、部屋が明るくなりスクリーンには「INTERVALLO」の文字が。上映時間が長いので休憩時間が設けられました。各々お菓子や飲み物を買いに行ったりトイレ休憩に行ったりします。そして突然映画が再開しました。中心街にある映画館は基本、夜に映画が上映されます。20 時半から映画が始まり、0 時に映画館を出てきました。当然イタリア語の映画なので本当に脳が疲れました。その後友人とピザを食べに行き、映画の内容についてわからなかったところを教えてもらいました。土曜の夜の映画館には私たちのような若者から、杖をつくおばあさんまであらゆる年齢の方々が映画を鑑賞していました。

【語学学校の試験に向けて】

9,10 月が積極的に外出することで人と出会い、新しいものに触れ、新しい体験を積み重ねることで自分の学びにつなげていた 2 ヶ月だったとすれば、11 月は圧倒的に家や大学の勉強ルームでの座学に時間を費やした 1 ヶ月でした。友達も増え、語学学校やイタリアの生活に慣れてきたところで、語学力がもっとあればもっと友達と過ごす時間が楽しくなるのに、と自分の語学力のつたなさに直面し、文法や語彙を基礎からしっかり学ぶことにしました。語学学校ではプレゼンテーションがあったり、ある悲しい事件がイタリアで起こった際にその事件についてクラスメイトと話しあう授業があったりと、スピーキング力が必要となる機会もありました。12 月の初旬に語学学校の筆記試験と口頭試験があるため、文法の問題も解けるようにならないといけませんでした。

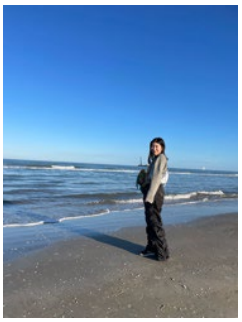
やはりここでも、私を助けてくれたのは日本語を学んでいるイタリア人の友人たちでした。文法のプリントの添削をみんなでしてくれたり、なぜ違うのかを教えてくれたりと本当にありがたいです。前置詞の問題では、なぜこの前置詞を使うのかについて、イタリア人同士が私に教えるために 1 問ごとに討論していました。その様子が本当にイタリア人らしくて、おもしろかったです。彼らは本当にずっと話しています。会話が終わったかと思えば違う話題がはじまり、もちろん口だけではなく手も使えるだけ使います。授業の前、授業終わり、お昼休憩、空きコマ、帰る前、永遠に話しています。話したければすかさず話し始めないと誰かが話してしまい、発言する機会を逃します。声量も日本に比べると基本的に大きいので、見ていて本当におもしろいです。このようなイタリア人の雰囲気が私にとって心地いいですし、自由さを感じます。



写真：大学のちょっとしたフリールームの天井には天井画が広がっています。

12 月は初旬に試験が終わり、それからは語学学校がありません。独学での勉強が大切になってくると思います。旅行もするつもりなので楽しみです。年末にかけてボローニャもきれいに飾られているので年末のイタリアも楽しみます。

↑ボローニャのクリスマスマーケット



↑リミニの海岸